

竹富町観光振興基本計画（素案）に関するパブリックコメント実施結果

実施期間：令和4年12月14日（水）～令和5年1月4日（水）

閲覧方法（場所）：竹富町ホームページ、竹富町役場自然観光課、各出張所

意見提出方法：電子回答フォーム、FAX、郵送、各出張所

No.	該当箇所	ご意見内容	回答
1	－	全体を通じて観光業ってどんな産業でしょうか。国の出している分類ではどれにあてはまりますか？	第5章の中で記載してまいります。
2	－	これは自然観光課が調査、考察、作成したものでしょうか。もし外部に委託したなら会社名と金額と過去の統計や調査等とどこがどのように違うのか、新しい発見や意見としてどのような事があったか示してください。	策定検討委員会の中で、委員の皆さまからご意見をいただきながら作成致しました。これまでの調査との違いとしまして、観光から波及する経済効果や産業間の取引を把握するため、観光関連事業者以外の事業者へもアンケートやヒアリングを行い、産業連関表の作成に着手しております。第5章で産業連関表から見える町内の経済状況や考察について記載してまいります。
3	－	観光業が主要な産業と考えていると思いますが、何故、観光業が主要な産業と考えているかその根拠を数字で具体的に示してください。一軒あたりの町への納税額は他産業と比べてどれほど大きいのか教えて欲しいです。	町内の観光関連従事者数が就業者の約半数を占めるため、観光業を主要な産業と考えております。
4	－	カヌーやトレッキング、サップ等のツアーを行なっている会社の確定申告がかなり低い業者があり、売上を誤魔化している会社や個人がいる事は疑いの余地がありませんが、それに対する対策案が見受けられません。どのように対策をしていきますか？それが具体的に示せないならこの計画は一旦止め、しっかり必要な施策を盛り込むべきだと考えますが、どう考えているか教えてください。	ご指摘の質問に関しましては、現段階でそちらを示す明確な根拠がございません。観光関連事業者の適切な納税に関しては具体的な施策等、必要に応じて、担当課と連携してまいります。
5	－	いわゆる観光業としている業種から様々な波及効果があり、または作り出す必要があると考えている事はわかりましたが、計画の策定にその様々な業種の方は関わりを持ったのでしょうか。具体的に策定に関わった委員の名簿の提出を求めます。もし、関わっていないなら今すぐこの計画を止める事を求めます。	策定検討委員会の委員名簿につきましては、資料編にて記載致します。また、観光関連事業者以外の方々にもアンケートやヒアリングにてご協力いただいております。
6	p1	計画期間中の変化の分析が無いので、前提条件が理解しにくいのですが、	第3章にて、計画期間中の分析を掲載致します。
		観光産業をどのような範囲でお考えですか？	No.1の回答のとおりです。
7	p3	立町宣言は10年前に策定されておりますが、その間の進展状況をどのように判断されたのですか？	立町宣言について、本町の観光振興における大元となる方向性を示したものであり、宣言そのものの進捗状況の判断というより、本計画の改訂のタイミングにおいて立町宣言にある5つの視点をもとに計画を改訂しております。
		立町宣言は素晴らしいと思います。その方向に沿って進んだはずの10年、それは、新空港開港とともに歩んだ10年であると思います。竹富町の観光を考える時に、石垣市、八重山広域圏、県、国等との関係が重要だと思われませんが、関連計画にその記述が無いのは何故ですか？特にDMOである八重山コンベンションビューローとの関係は重要だと考えますが、	本町の観光振興にあたっては、関係機関との連携は重要なものと考えており、第2章の推進体制で記述してまいります。
8	p4	「責任ある観光」とは、誰の誰に対する責任なのかがわかりにくいと思います。	本文中に分かりやすい形で明記していきます。
9	p5	「竹富町ブランド」が既に存在しているから「訪問税」のような方法が可能だという判断になっていると思うのですが、どの様なブランドイメージを持つ、持たれることが必要だと思われるのですか？これまでも幾多のキーワードやマーク、キャラクターが創られ、その中でピカリヤー、「きっと会いたい島がある」「islands9+」等、生き残って来ているものがありますが使わないのですか？ また新たに考えるのでしょうか？	本計画においては、竹富町全体をイメージするものとして、竹富町ブランドという表記をしております。
		事業者とは誰のことですか？	第5章で記載した観光産業を営む事業者を想定しています。
		数値目標を立てることを重要だと思われるようにも読み取れますが、どうなることが「最適化」だと最終判断されるのですか？これまでの経験上、PV数はあまり役に立っていないのですが、	ここではKPIやKGIを指標として、バランスがとれた状態を最適化と表現しております。

		モニタリングしたいと考えている「資源」とはなんですか？イメージとしては自然系に対しての定点観察等を思い浮かべるのですが、文化関係はどうなりますか？	ここでいう資源とは主に自然環境を指していますが、「観光資源」としては観光産業に資すると思われる自然及び文化を想定しております。
		必要なのは「入域観光客の統計」ではなく、「宿泊者滞在者」の調査では無いでしょうか。またはその比較とか、	調査の中に、宿泊に関する項目も含まれます。
10	p 6	多言語化はこれまでも様々な補助金や助成金があり進めて来られているはずですが、それらの総括は無いのですか？また、次の5年での絶対変化するであろう翻訳技術の進歩をどう考えていらっしゃいますか？	これまで十分ではなかった多言語化に関しては、適宜最適な事業導入などを検討してまいります。
		講習会レベルのものは、これまでも色々あったように記憶しておりますが、どのような講習会を行えば、現在の不足している観光人材の助けになるとお考えなのか分かりません。5年後にどのような人材が必要だと考えられているのですか？	観光における人材の育成は、地域に根差した形で長期的な観点で実施していくものであると考えております。
		月に1回、誰と話にいかれるのですか？どのような役割分担が必要だと考えられているのですか？	各島にある観光関連団体を想定しています。役割分担については意見交換を通じて各島の状況に沿った形で進めていければと考えております。
11	p 7	これまでも、沖縄県や内閣府沖縄総合事務局等での、産業間連携推進の調査や創出すべき事業の検討、また地域振興のための観光振興計画及び社会資本等に関する調査はなされて来ております。その辺りのデータも参考にされての今回の提案でしょうか？元々輸入超過（それも年々拡大して来ているように思います）の離島の離島の離島である私たちの町に必要な経済循環が、町内だけの調査で解決するのでしょうか？経済上の観点？から考えた時、竹富町の基幹産業は「観光」ですか？	観光における産業の在り方を明確にするために、本計画においては産業連関表を基にした経済循環を明らかにすることを計画の主要項目と位置づけております。
		勉強会の開催の有無がKPI？	各KPIについては、より最適なものを策定検討委員会の中で検討致します。
		これまでも様々な形で生産者情報の開示や広報を、各部署等で行なって来られて来た記憶しておりますが、ご存知でしょうか？どのような取り組みが、何故上手くいかなかったのか、という反省も必要では無いかと思うのですが、、	本計画においては、観光のみならず前計画期間中に行われてきた様々な事業に対し、振り返りを行い、次期の施策項目としております。
12	p 8	町内の産業構成の偏りの原因が全くわかっていないということなのでしょうか。	産業の在り方を明確にするために、本計画においては産業連関表を基にした経済循環を明らかにすることを計画の主要項目と位置づけております。
13	p 9	町民アンケートでの意識調査がKGI？	各KGIについては、より最適なものを策定検討委員会の中で検討致します。
14	—	各数値ですが、現状がいくつなのか分かってとありがたいです	参考資料に関する数値は資料編にて記載しています。
15	—	竹富町のブランドについてですが、認知率や利用意向度、知覚品質などは定点で市場調査は予算をとって行った方が良いと思いました。	各調査は可能な範囲で実施していきたいと思えます。
16	—	バックキャストिंगに加えて、過去の計画の評価もあるとより各事業者も現状の施策に紐づけやすいです	過去の計画の評価に関しては、適正な形で記載してまいります。
17	—	人材確保はアジア圏も入れていただくと嬉しいです	ご意見の反映を検討してまいります。
18	—	推進体制は体制図があると相談先も明確になりありがたいです	ご意見の反映を検討してまいります。
19	—	経済の部分ですが、竹富町全体のKPIに紐づいているか悩みました。域内調達率を上げる＝経済と社会の両立につながるのか、町内全体へ経済のプラスにつながるのか。ブランドの確立とセットなのかもしれませんが、少し腹落ちできませんでした。	産業の在り方を明確にするために、本計画においては産業連関表を基にした経済循環を明らかにすることを計画の主要項目と位置づけております。

20	<p>第一次産業だけだった沖縄に、50年前「観光」が入って来て、基幹産業と呼ばれるま でになりました。わが町では10年前に観光立町宣言がなされ、『観光まちづくり』が 標榜されました。そのことを踏まえてと素案には書いてありますが、次の5年間で何 をどう実現したいのかがわかりませんでした。この10年間、その大方針に基づいて役 場と商工会と観光協会は、三位一体となって様々な事業（町民や観光客への調査、そ れに基づいたPR活動、特産品作り、六次化等々）にチャレンジしてきました。その 総括が全く無いのは何故なのか。それぞれの事業の目指した事、その進捗状況を把握 し、コロナ禍により疲弊した地域経済をどう立て直すのか、変化してしまった時代を どう認識し方向修正するのか、そのまま粘って頑張るのか、その判断をするターニン グポイントに今立っている。以前と同じようには戻れない。地球温暖化という課題も ある。「今」をどう認識するのかということも、素案からは読み取れませんでした。 また、新石垣空港が開港（この名称決定でも石垣市と揉めましたが、南ぬ島空港の名 称を括弧付きで入れてもらう事で決着した経緯もあります。）、その場所に『島土 産』開店、各島を結ぶ光通信も生活保全航路もようやく開通、西表島の世界遺産認定 の達成など、10年前とは異次元のインフラの充実の上で、私たちは次の5年に立ち向 かって行くわけです。</p> <p>また来年は、「訪問税」という自主財源づくりの課題も待っています。その審議の 前提条件とも言うべきこの報告書は重要です。そして驚いたのは、空と海の観光客の 入口が全て石垣市にあることに対しての政策が無いことです。DMOとして、八重山 地域圏プラットフォームを形成しようとしているコンベンションビューローに対して の位置づけもありません。産業連関の件に関しては、町内調達比率のことしか念頭に 置かれていないようですが、沖縄県や内閣府沖縄総合事務局からこれまで出される 類似の報告書も読み、検討されているのでしょうか？ 申し訳ありませんが、この素案 では5年後のビジョンが見えません。どのように町民が幸せに暮らせる『観光まちづ くり』をするのか、もう少しずぶんを駆使し、町民が共有しやすい「夢」が見える ような、具体的な報告書にしてください。よろしくお願い致します。</p>	<p>いただいたご意見を反映し、分かりやすい 形で周知できるような内容にしていきたい と思います。</p>
----	---	---